



2020 J.LEAGUE YBC Levain CUP

グループステージ第1節

2.16 [SUN]
14:00 KICK OFF
駅前不動産スタジアム



サガン鳥栖



北海道コンサドーレ札幌

©1996 CONSADOLE



自分たちからアクションを起こして試合の主導権を握る

「サポーターの皆さん前で公式戦はじめての試合、どうであれ勝利という結果を求めたい（松岡大起選手）」JリーグYBCルヴァンカップの開幕戦を駅前不動産スタジアムで迎えます。

読谷村でのキャンプから鳥栖でのトレーニングを通して、「相手に合わせるだけでなく、自分たちの準備してきものをしっかり出す」というところに今シーズンはフォーカスしてやってきた」と金明輝監督が話せば、「それぞれの特徴を出しながら練習からチャレンジしています。勝つことしか考えてないですし、自分たちのサッカーをやれば勝てる」と内田裕斗選手が言うように、やるべきこと、目指すべきことがチームに浸透しており、開幕に向けて順調な仕上がりを見せています。

梁勇基選手は「選手たちでコミュニケーションがとれているのもっと良くなっていく。このチームで勝ちたいという気持ちが強い」と今シーズン新加入選手と既存選手との融合にも是非、注目してください。

開幕戦の相手は昨シーズンのルヴァンカップで準優勝という勝負強さを見せる北海道コンサドーレ札幌です。「監督が変わったわけではないので、大きくやり方は変わらないかもしれません、ダイナミックな攻撃、セットプレーは脅威ですし、変化を加えてくることも想定しながら、しっかり対応したい。ゴールを奪わせない、ゴールを奪う、全て逆算して考えている」と金明輝監督。

攻守でプレーが途切れ集中力を欠かさないように連続してボールを受ける、連続してボールへプレッシングする、自分たちからアクションを起こして試合の主導権を握る。指揮官の目指すサッカーが体現できればサガン鳥栖の開幕戦勝利は見えてくるはずです。





○いよいよ今シーズンの開幕を迎えます。トップチームに昇格して感じている部分を教えてください。

(大畑)最初、プレーのスピードが早く難しい部分もありましたが、慣れてきていい感触を掴めています。また、先輩たちの練習前、試合前の準備が勉強になっています。

(板橋)ハードな練習の中でも全力で頑張っています。ユースと違って一回のミスが許されないので緊張感があります。

(本田)優しい先輩に囲まれて練習からやりやすい環境です。陽平くん(高丘選手)、輝綺くん(原選手)、リキくん(原川選手)たちに美味しいご飯に連れて行ってもらって、本当に感謝しています。

(松岡)新しい選手も入ってきて、それぞれに違った特徴があるので、たくさん話してコミュニケーションを取れるように頑張っています。本当にいい雰囲気の中でトレーニングに取り組むことが出来ています。

○チームに入る前に憧れていた選手、気になっていた選手はいましたか?

(本田)リキくんです。技術が高く、うまい。試合など見ていて無口な印象がありました。実際に接してみると色々と教えてくれます!

(松岡)トヨさん(豊田選手)、ヨシキさん(高橋選手)はサッカーだけじゃなくて本当にたくさん教えてくれます。トヨさん、ヨシキさんが率先してトイレットペーパーの芯を片づけたり、トイレ掃除する姿を見て、自分たちがしっかりやっていかないといけないと感じています。

(板橋)タケジくん(金森選手)です。話しかけられないオーラがありました。実際に話すと優しくて笑顔が素敵です!

○みんなは昨シーズンで引退した谷口博之氏、池田圭氏からタスキを受け取りましたね。

(大畑)お二人が活躍されていた時の鳥栖らしさを自分たちが体現したいです。

(本田)鳥栖の良さ、ハードワークを自分たちも受け継いで、強い鳥栖を見せられるように自分たちが引っ張っていきたいです。

(松岡)ネットで以前のサガン鳥栖の試合を見ることがあります。みんなハードワークして、鳥栖らしく戦う、明輝さん(金監督)から言わされたことを体現したいし、強い鳥栖の更に上を目指したいと思っています。

○最後にサポーターの皆さんへメッセージをお願いします。

(板橋)1日1日を大切にして、試合に出て、サポーターの皆さんと笑顔で終わりたいと思います。

(大畑)1日でも早く試合に出られるように頑張りますので応援よろしくお願いします。

(松岡)しっかりキャンプでもやってきているので、開幕戦、勝てるよう頑張ります。応援よろしくお願いします。

(本田)試合に出て、アシスト、得点に絡んで、応援しにきてくださった皆さんワクワクする、楽しんでもらえるようプレーをお見せできるように頑張りますので、試合に来て背中を押してください。